

6月28日の尾張健友会定期社員総会、6月20日の尾張健友福祉会評議員会で承認された決算報告をお知らせします。

2025年度決算の概要について

1. 収益について

①今年度の事業収益総額は約49億5,246万円となりました。医業収益約40億5,280万円、介護収益約9億4,718万円、合わせて前年比99.86%で、前年度より約711万円の減でした。予算に対しては98.2%と達成することができませんでした。

②外来収益は前年比94.4%で約4,141万円の減、予算比91.5%、入院収益では前年比101.7%で約1,820万円の増収、予算比100.6%となりました。外来は患者数減が継続していますが、入院の稼働が高かったことと、積極的に救外・救急搬送を受入れたことにより増収となっています。保健活動収益は、前年比94.6%で約675万円の減収で、予算も1,897万円下回りました。

施設介護は、稼働目標未達で予算収益も未達ですが、前年度より稼働が上がりました。収益は前年比101.2%ですが予算比は99.1%と予算収益にはとどきませんでした。居宅介護はデイケアや老健ショートステイでは利用者目標を上回りましたが、訪問看護等の利用者確保が厳しく、収益は前年比98.9%で約387万円の減収、予算比97.2%となりました。ケアプランなどその他介護収益も予算・前年比を下回り厳しい結果となりました。介護収益合計では前年比98.6%で約1,340万円の減収、予算比は96.9%でした。今期は、施設入所の稼働は目標にはとどかなかったものの一定確保しましたが、居宅収益の利用者確保が厳しい結果となりました。

2. 費用について

①今年度の事業費用総額は約50億4,380万円となり、前年比101.7%で約8,482万円の増、予算比98.2%でした。その内、人件費は前年比で101.2%で約3,993万円の増、予算比98.4%、材料費は前年比91.8%予算比90.4%、委託費は前年比116.1%、予算比101.1%です。経費は前年比105.2%で約2,543万円の増、予算比105.4%となっています。減価償却費は前年比98.5%で約207万円の減でした。また、消費税負担額は前年比106.5%で約800万円の増となっています。

人件費では、例年の昇給や補助金を活用した引上げを行っていますが、職員の退職にともなう人員確保もきびしく人件費支出としては1.2%ほどの上昇となっています。材料費は薬品の引き下げや外来患者減と前年度までの高額なコロナ関連薬品もなくなり減額しています。委託費では、物価高騰・最低賃金上昇などから給食・清掃・保守等が大幅値上げとなっています。経費では、消耗品費はじめ全般的に物価高騰の影響で価格上昇しています。費用全体で、前年を超える執行となりました。この傾向は、まだまだ続いており注視していかねばなりません。

②今年度の収益に対する構成比は、人件費は65.9%（前年65.0%）、材料費は10.6%（前年11.5%）、委託費は8.8%（前年7.5%）、経費は10.3%（前年9.8%）となりました。

3. 利益について

①今年度の経常利益は、約6,952万円となっています。前年は約1億994万円で、約4,042万円の減収となりました。事業利益は△5,191万円ですが、補助金等の事業外収益と支払い利息などの事業外費用を含め上記経常利益額となっています。

事業収益は前年実績を下回り、予算（予算比98.2%）にもとどきませんでした。一方、事業費用については前年を上回りましたが、予算内での執行となり（予算比98.2%）、事業利益は前年を下回り予算を若干上回りました。物価高騰対策等補助金と包括支援センター補助金等を含めて1億3,816万円あり、結果経常利益予算を達成できました。

今期も、地域包括医療病棟基準の確保と病棟の高稼働運営で収益確保してきましたが、外来や居宅介護事業等で、患者・利用者確保が厳しく収益予算未達、費用も予算内、補助金収益を合わせて利益目標が達成できました。

4. 財務状況について

①総資産額は約40億6,372万円となりました。前年比96.5%で約1億4,905万円の減となっています。資産では流動資産が約20億6,743万円となり前年比99.3%、約1,358万円の減。固定資産は約19億9,628万円の前年比93.6%、約1億3,546万円の減となりました。

負債では流動負債が約8億4,080万円となり、前年比96.6%約2,978万円の減。固定負債は約16億7,238万円となり、前年比91.1%約1億6,249万円の減。資本合計は約15億5,052万円の前年比102.9%、約4,323万円の増となりました。

当期利益を確保し、剰余金を増やしています。

②総資産約40億6,372万円のうち建物等の有形固定資産は約13億9,812万円前年比34.4%を占めています。

③自己資本比率は38.2%（前年度35.8%）です。

2025年度事業活動のまとめ

事業活動の重点として「学びあう」を掲げて取り組みました。

1) 高齢者の人権を守り、安全・安心・信頼を高める介護・福祉活動に取り組みました。

“あってよかったちあき”を目指して「最後まで夫婦と共に過ごした願いを叶えるケア」に取り組み、県連学術運動交流集会で実践報告しました。

全部署の主任が参加する介護の質向上委員会では「ケアの倫理」を学ぶため、全日本民医連新聞のケアcaféを毎回一事例ずつ読了しました。委員会では一つの事例にそれぞれ感想を話してケアの倫理を深めていき、部署に持ち帰りケアの倫理を広げていきました。

2) 人材育成、職場づくりを促進しました。

認知症介護実践者研修に3名、認知症介護リーダー研修3名が修了しスキルアップと共に認知症介護の質の向上となりました。また「ロジカルシンキング」や「アンガーマネジメント」等、介護スキル以外の研修も受講し、仕事全体の質の向上へ繋げました。

特定技能外国人4名（4月2名、11月2名）を迎え、国の言葉や文化があっても互いに尊重しながら育成計画を進めてきました。2026年夏までには4月

入職の2名が夜勤独り立ちの予定です。

3) 地域の信頼、要求に応える事業所運営に努め、経営基盤を強化しました。

医療との連携、認知症ケア、入浴等の加算の取得に積極的に取り組み収益確保に努め、予算達成には至らなかったが、前年より事業活動による収入は3,100万円増となりました。

4) 地域交流、まちづくりへの参加を広げました。

地域を交えたイベント企画では特養やデイサービスに幼稚園の園児が発表したり、ボランティア活動では、喫茶や囲碁・将棋、生け花などがあり延べ2,151名の参加がありました。

5) 地域の人々と共に、誰もが健康で平和に暮らすための社会保障充実・平和運動に参加しました。

春は「春のドクターナース介護ウェーブ」2名、夏は「平和行進」2名、「原水禁世界大会 in 長崎」1名、「21老福連 PEACE ACTION in 広島」1名、秋は「いのちをまもる総行動」1名、「秋のドクターナース介護ウェーブ」2名、冬は「3.1ピクニデー社行会・報告会」8名と1年を通して社会保障の充実と平和運動に取り組みました。

医療法人 尾張健友会 2025年度 決算報告

(単位:千円)

損益計算書 table with columns: 損益計算書, 年度実績 (金額, 構成比), 年度予算 (金額, 執行率), 対前年比. Rows include 医業収益, 介護収益, 保健活動収益, etc.

貸借対照表 table with columns: 貸借対照表, 期首残高, 期末残高 (金額, 構成比), 増減額. Rows include 現金・預金, 事業未収金, 棚卸資産, etc.

社会福祉法人 尾張健友福祉会 2025年度 決算報告

貸借対照表

2026年3月31日現在

事業活動決算書

2025年4月1日～2026年3月31日現在

Large table containing 貸借対照表 (Balance Sheet) and 事業活動決算書 (Statement of Activities) for the Social Welfare Corporation. Includes sub-sections for 資産の部, 負債および純資産の部, and 事業活動増減の部.